



別府市幸町で助産院を開く助産師矢野妙子さん（43）らが、母親同士をオンラインでつなぐ「オンライン de ママ会」を始めました。

# オンラインでママ会

## 別府の助産師 矢野さんらスタート

【別府】別府市幸町で助産院を開く助産師矢野妙子さん（43）らが、母親同士をオンラインでつなぐ「オンライン de ママ会」を始めた。新型コロナウイルス感染拡大で外出の機会が減り、子どもと1対1の日々を送る母親たちをサポートしている。



オンラインで母親たちが交流する場を設けている「ママの輪」の矢野妙子さん（別府市幸町）

① 矢野さんがオンラインでママ会をスタートさせたのはどのような動機からですか？

矢野さんは地域で孤立化する母親と地域をつなぎたいと支援グループ「ママの輪」を結成して交流の輪を広げていたが、コロナ禍で活動が中断を余儀なくされる中、母親たちから切実な悩みが届くようになったことから、「自宅にしながら交流できないか」とオンラインでの活動をスタートさせた。

② 矢野さんの元に寄せられた悩みにはどんなものがありましたか？

「夫に育児の大変さを理解してもらえない」「外出できず話し相手がない」

③ 「オンライン de ママ会」はどんな活動をしていますか？

子どもとのコミュニケーションを学ぶ講座やおしゃべり会を開き、毎回10～15人ほどが参加している。

④ 悩みを抱える母親たちに、矢野さんは何と呼び掛けていますか？

「話をして『大丈夫』って言われるだけでスッキリすることもある。気軽に参加してほしい」と呼びかけている。

矢野さんは地域で孤立化する母親と地域をつなぎたいと2018年9月、看護師で写真家の川野悦子さん（41）同市朝見、理学療法士の寺村いずみさん（39）同市扇山IIの3人で支援グループ「ママの輪」を結成。毎月1回、市内でワークショップや講座などを開き、交流の輪を広げてきた。コロナ禍で活動が中断を余儀なくされる中、助産院で乳児と母親を対象にした産後ケアをする矢野さんの元には切実な悩みが届くようになった。「夫に育児の大変さを理解してもらえない」「外出できず話し相手がない」とストレスを抱えていることが分かった。

## 「コロナ禍での悩み話して」

「自宅にしながら交流できないか」と、9月にウェブ会議システムを使ったオンライン de ママ会をスタートさせ、子どもとのコミュニケーションを学ぶ講座やおしゃべり会を企画。毎回10～15人ほどが参加するなど好評で、「誰かと話すのは久しぶり」という声も聞かれた。矢野さんは「赤ちゃんが成長して外出できるようにもなっても、コロナ禍で外に出られずにつらい思いをしている。話をして『大丈夫』って言われるだけでスッキリすることもある。気軽に参加してほしい」と話している。次回は29日午前10時からベビーマッサージの講師による「タッチケア講座」を開く。無料。「ママの輪」の会員制交流サイト「インスタグラム」などでも情報を公開中。問い合わせはレストハウスやの助産院（☎0977・26・5231）へ。（佐藤弘子）